

きんもくせい

平成28年9月30日発行
静岡県養護教諭研究会
代表 山崎 永子
(菊川市立菊川西中学校)



「顔」

静岡県養護教諭研究会顧問校長 青野 雅和

「これが欲しいんですよ。顔に書いてあるよ。」などと人から言われてドキッとする事があります。私の心の奥底に隠しておいた欲望が、凶らずも身体の最前面にある私の「顔」に、書いてあるかのごとく漏れ出ていたのです。確かに私たちの感情は、「浮かない顔」「顔を曇らせる」「顔色を失う」「顔をほころばせる」「得意顔」「何食わぬ顔」などのように、自然に「顔」から出てきてしまうようです。

一方、自ら「顔」をつくることもあります。自分の「顔」を自分では（直接）見ることができないのに、他の人に微笑み「顔」をつくって見せたり、念入りに「顔」の手入れをしたりするのは。「自分の顔は、他の人のためにある」とも言われます。人は言葉とともに「顔」の表情を豊かにすることにより、他との高度な意思疎通を可能にし、共同生活を営み、高度な文明社会を築いてこれたのです。

しかし、今日広く使われるようになったメール、ライン、ツイッターなどの紋切り型の文字言葉によるコミュニケーションは限定的で、誤解を生みやすいのです。やはり、人と人とをきちんとつなぐには、まずは face to face、そして相手がきちんとキャッチできる言葉が必要です。「顔」を合わせ、目を合わせ、相手がわかるような言葉で話をするを大切にしましょう。

ケガや病気、悩みを抱えて保健室に救いを求めてきた子どもたちにとって、養護教諭の皆さんの顔の表情と言葉は、きっとどれにも増して効く特効薬だと思います。

地区紹介

駿東地区

駿東地区は、小学校30校（複数配置3校）、中学校18校、会員数51名の養護教諭で組織されています。御殿場市・裾野市・清水町・長泉町・小山町の2市3町で成り立っており、4つの支部に分かれて支部ごとにテーマを設定し研修に取り組んでいます。今年8月に行われた地区教育研究集会では、第4支部が「小山町ならではの保健室経営」をテーマに実践発表を行いました。毎年1つの支部の実践発表と研究協議を行うことで、地区全体の研修を深めています。また、年4回の地区研修会では、班別研修で養護教諭同士の交流を図ったり、講演会を開催したりしています。7月にエムエスマイスターのトレーナーをお招きし、応急処置とけが予防について実技も交え、保健主事との合同研修を行いました。11月には静岡大学教育学部准教授の鎌塚優子先生に御講演をいただき、研修を進める予定です。支部を超えての情報交換がしやすく、互いに声を掛けやすい雰囲気です。これからも養護教諭のスキルアップを目指して取り組んでいきます。

「きんもくせい 100号」を記念して

夏季研修会では、会報「きんもくせい」の由来について、情報の提供をお願いしたところ、数多くの情報をお寄せいただきありがとうございました。

平成12年度までは、会報・会誌ともに「たちばな」という名前だったそうです。混同をしないように平成13年度から「きんもくせい」に変更して発行したとのこと。

命名の由来は、“会報「きんもくせい」の幹で栄養（情報）を会員に行き渡らせて、会誌『たちばな』で花を咲かせる”ということでした。

さらに、平成13年度には、様式が両面B4からA4に縮小され、1回の情報量が減少してしまうことから、発行回数を年5回から6回（役員2年目は7回）に増やし、現在に至っています。

会報「きんもくせい」35号までは、残念ながらデータでの保管がされていません。紙媒体でお持ちの方がいらっしゃいましたら、理事を通じて連絡をいただければと思います。多くの情報をお待ちしております。

静岡県養護教諭研究会 会報 第1号

きんもくせい

平成13年5月29日発行
静岡県養護教諭研究会
代表 渡辺千津子
(浜松市立中郷中学校)

充実そして発展へ









静岡県養護教諭研究会 会長 渡辺千津子

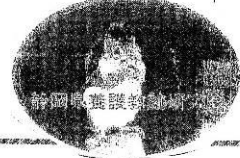
21世紀になり、半年が過ぎようとしています。
会長として昨年度を振り返ってみますと、多くの方々との出会いと様々な経験を通して、会員の皆様に支えられている実感と組織力の素晴らしさを感じた1年でした。研究会のテーマ「前進」が、着実に実となり研究会の発展へとつながっていると思います。そして、会長職として2年目を迎えました今、昨年とは異なる心地よい緊張感を感じています。本年度は、その緊張感を大切に、さらにさらに「前進」し、「充実そして発展」の年としたいと考えています。

研究会の具体的な活動として、
① 冬季研に変わる「実技研修会」の開催 ② 会報「きんもくせい」の新たなスタート
③ 「ホームページ」へのデビュー ④ 「事例集Ⅶ」の発行 ⑤ 会誌「たちばな」の職制60周年記念特集号の発行 ⑥ 「調査研究」の新たな切り込み調査などと充実しております。

また、本年度は、職制60周年でもありますが、私たち研究会が発足して5年目となります。顧問の校長先生として、原田秀夫校長先生（袋井北小学校）をお迎えしました。いろいろな意味での節目の本年、県教育委員会・各教育事務所・校長会・全国養護教諭連絡協議会との連携をさらに深め、研究会の「充実そして発展」をめざしていきます。今後とも、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

昨年度、ホームページ編集委員会が発足しました。会員のみなさんに、いい情報や楽しいページを提供するために、委員会のメンバーで研修し、何回も何回も作り直し、やっとできあがりました。なお開設は、6月以降の予定です。しばらくお待ちください。
★ ホームページアドレス <http://sizuoka-c.ed.jp/tathibana/>
内容：1組織 2会員 3事業計画 4地区の活動 5発行図書 6会報 7会の歩み 8リンク

 組織	 発行図書
 会員	 会報
 事業計画	 会のあゆみ
 地区の活動	 リンク



紙媒体をコピーして読み込んでいただく、画像が不鮮明な部分があります。御了承ください。



平成13年5月29日
第1号